

御前崎市学校再編検討委員会（2021. 9. 27.）

人口が減っても元気な地域をつくるには  
～学校を題材に考えよう～

武井敦史（静岡大学大学院）  
takei.atsushi@shizuoka.ac.jp



1

## 本日のメニュー

- 1 はじめに
- 2 「学校再編」とはどんな課題か？
- 3 ピンチはチャンス
- 4 チャンスを活かすために
- 5 おわりに

2

## 自治体の学校再編と関わって

磐田市、森町、掛川市、島田市、焼津市、富士市、下田市、（伊豆市）、（御前崎市）・・・

「成功事例」はたくさんあるけど実態は・・・？

1 はじめに

3

## 学校再編とはどんな問題か？

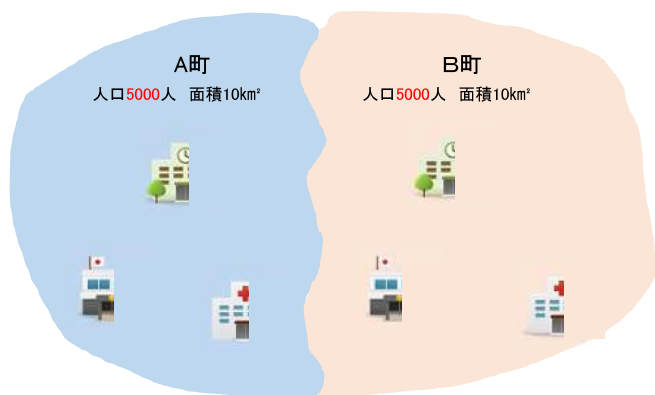
こんな町を想定してみましよう



2 「学校再編」とはどんな課題か？

4

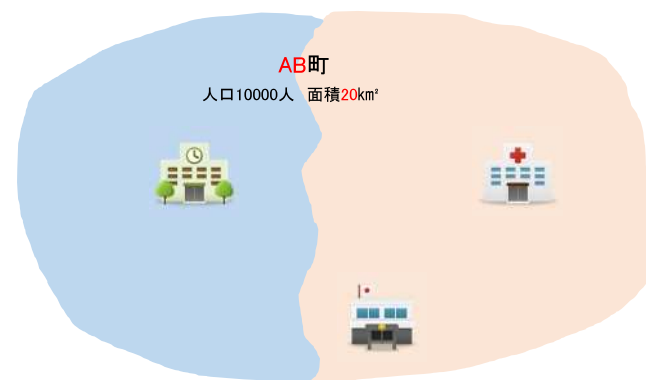
### 人口が半減すると・・・パターン①



2 「学校再編」とはどんな課題か？

5

### 人口が半減すると・・・パターン②



2 「学校再編」とはどんな課題か？

6

ただし・・・事はそれほど単純ではない

学校の「**かけがえのなさ**」という障壁



放課後子ども教室、コミュニティスクール、学校応援団・・・  
地域住民はどうして学校を支援するか？

2 「学校再編」とはどんな課題か？

7

学校という施設の特殊性

- ① 地域最大の公共施設
- ② 存在の身近さ
- ③ 精神的シンボル
- ④ コミュニケーション拠点

2 「学校再編」とはどんな課題か？

8

## 「学校再編」という問題の特殊性

- ① 失敗は隠される
- ② できれば触れたくない
- ③ 長期的ビジョンをもちにくい
- ④ ノウハウの蓄積がほとんどない

2 「学校再編」とはどんな課題か？

9

## 事例Ⅰ 未来の下田創造プロジェクト

伊豆新聞 令和2年10月10日（土曜日）  
 朝刊 1ページ  
 未来の下田創造プロジェクト  
 20年後も大好きな町に  
 東中生33人初参加し協議「仕組み」を提案

10

## 事例2 アースランチプロジェクト(牧之原市)

創作料理 勝間田小が大賞  
 ふるさとシチュー ON さつまいもライス  
 牧之原でフェス4校児童出品「地域愛と誇り伝わる」

下田に誇りを持ち、下田の未来を担う人

下田市教育大綱（作業用・根拠貼付版）



Shimada

令和3年3月  
 令和3年4月～令和8年3月（5年間）

第5次下田市総合計画 基本編（素案）  
 「下田を愛する、幅広い人々の参加により、  
 本市の持つ自然・歴史・文化を活用し、  
 地域一人一人が誇りをもって暮らすことのできるまちづくり」

なぜこのような教育大綱  
 「人口が減少し、少子高齢化が進む中、下田市の未来を担う子どもたちが、下田を愛する、幅広い人々の参加により、本市の持つ自然・歴史・文化を活用し、地域一人一人が誇りをもって暮らすことのできるまちづくりを実現するために、この教育大綱を策定する。この教育大綱は、本市の未来を担う子どもたちが、下田を愛する、幅広い人々の参加により、本市の持つ自然・歴史・文化を活用し、地域一人一人が誇りをもって暮らすことのできるまちづくりを実現するために、この教育大綱を策定する。」

この教育大綱の役割  
 「この教育大綱は、下田市の未来を担う子どもたちが、下田を愛する、幅広い人々の参加により、本市の持つ自然・歴史・文化を活用し、地域一人一人が誇りをもって暮らすことのできるまちづくりを実現するために、この教育大綱を策定する。」

教育の理念：何を目標にしますか？

下田に誇りを持ち

夢と志を持ち、可能性に挑戦するために愛と力を育成する

（中）下田に誇りを持ち、夢と志を持って、未来を担う人

未来を切り拓く、志を持った人

志を持った人の具体像とは？

心すばし、未来を拓く

下田が繁栄するため、特に愛する

自分自身を大切に暮らす

誇りを継承し、未来を拓く

11

静岡新聞 令和2年(2020年)11月28日（土曜日）朝刊 022ページ

3 ピンチはチャンス

12

## 小学校対抗創作料理対決

### イメージ

- ① 11月頃「アースランチデー」を設定しフェスティバルを開催
- ② 各学校チームがコンセプトを作り、
- ③ 米・小麦粉・基礎調味料以外は校庭で育てた食材と校区で採集した食材のみでランチを作り、
- ④ 料理名とそのアピールポイントを紙とプレゼンで表現し、
- ⑤ 来場者に食べ比べてもらい投票で味とアピール力を競う。

3 ピンチはチャンス

13

## うまうまい「コピペ」

地域おこしの成功例として参照

『そうだ、葉っぱを売ろう！  
—過疎の町、どん底からの再生—』  
横石知二著  
ソフトバンククリエイティブ  
2007年9月

- 「つまもの」300種類以上
- 年商2億6000万円
- 年間売上が1000万円を超えるおばあちゃん
- 映画『人生、いろいろ』  
2012年秋(全国15万の方が来場)
- 視察年間4,000人以上

4 チャンスを活かすために

14

## チャンス活用のヒント(私の経験論)

- ① 「場」の声を聞く
- ② 横断チーム
- ③ 外部の知
- ④ 貪欲な施策・報道活用
- ⑤ 内部に一人

4 チャンスを活かすために

15

## 学校再編の基本課題

### ①人口減少社会の施設配置

- 地域全体の視点に立って最適な学校配置を



どうやってこの二つを両立させるか？

### ②教育負担の一部を地域が担う時代

- 学校の精神性を失わないように

5. おわりに

16

## 具体的課題

### 1. 小規模化を市全体の問題として捉えられるか

- ① 中心校から小規模校に向かう人の動き
- ② 小規模校の精神性を継承するしくみ

### 2. 地域の可能性を最大限に開拓できるか

- ① 教育課程特例校、特認校、指定学区制度、教育特区、コミュニティスクール、義務教育学校、研究開発学校等の制度の活用
- ② 各種助成金・研究指定への応募
- ③ 放課後子ども教室、放課後児童クラブの活用
- ④ 地域スポーツクラブなど地域の教育資源の活用方法の開拓

### 3. 最大の課題・・・地域の未来ビジョンをどう作るか

5. おわりに

## 今後の議論において(まとめ)

①地域づくりの好機をつかんで活かそう

②成功事例は学んで真似ない

③地域活性化は核をつくって戦略的に

5. おわりに